

# 1. MacOS 端末での利用（初回接続）

---

本項では、MacOS 端末から初めての接続する場合の手順を記載します。

## 1.1 MacOS 端末からの接続

---

1. Web ブラウザを起動し、SSL-VPN 装置へアクセスをおこないます。

| 項目  | 入力内容                         |
|-----|------------------------------|
| URL | https://vpn2.narmed-u.ac.jp/ |

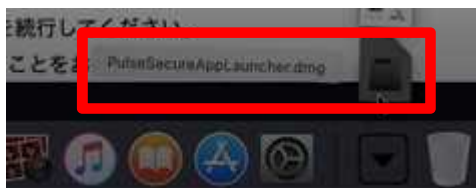
2. 接続する端末が条件を満たしているか確認をおこなうツール「HostChecker」が自動でインストールされます。インストールが完了するまで待ちます。



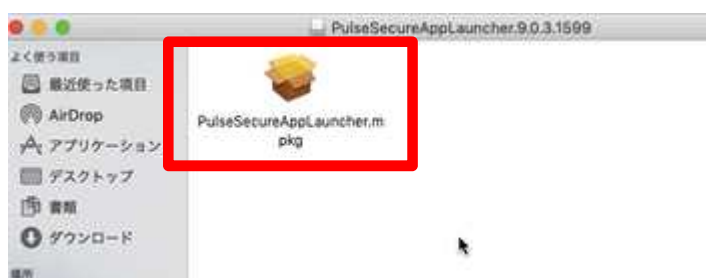
3. 下記のメッセージが出た場合は、「ダウンロード」を実行します。



4. モジュール「PulseSecureAppLauncher.dmg」がダウンロードされたら、実行してマウントします。



5. 「PulseSecureAppLauncher.mpkg」ファイルが表示されたら、実行してインストールします。



6. 「Pulse Secure Application Launcher」のインストール画面が表示されます。「続ける」を実行します。



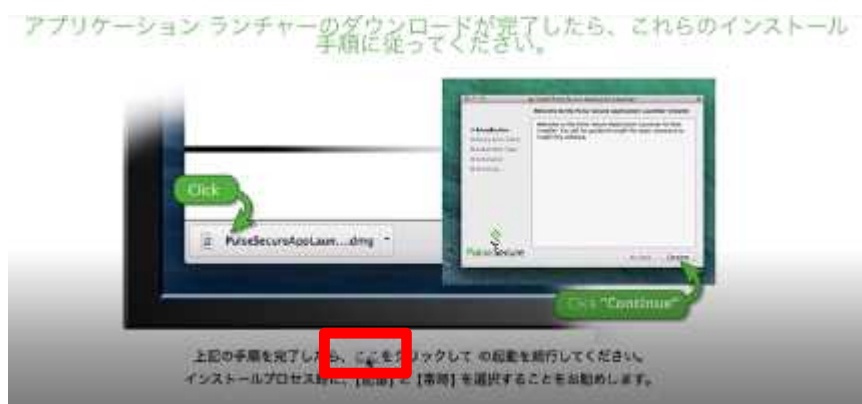
7. 「インストール」を実行します。



8. 以下の画面が表示されたら「閉じる」をクリックします。



9. ブラウザの下部の「ここ」のリンクをクリックします。



10. 接続する端末が条件を満たしているか確認をおこなうツール「HostChecker」のインストールが始まります。  
以下のようなポップアップが表示されたら、それぞれ以下のように選択してすすめます。

このページで"PulseApplicationLauncher"を開くことを許可しますか？

キャンセル **許可**



未使用のアプリケーション"PulseApplicationLauncher"を開こうとしています。開いてもよろしいですか？

このアプリケーションは"Pulse Secure"という名前のフォルダに入っています。このアプリケーションを開かないでFinderで表示するには、"アプリケーションを表示"をクリックしてください。

アプリケーションを表示

キャンセル

**開く**



#### Pulse Secure Application Launcher

Pulse Secureからサーバへの接続を許可し、サーバからのダウンロード、インストール、ソフトウェアの実行を行いますか？

サーバ名: vpn2.naramed-u.ac.jp  
製品名: Host Checker

いいえ

はい

**常時**



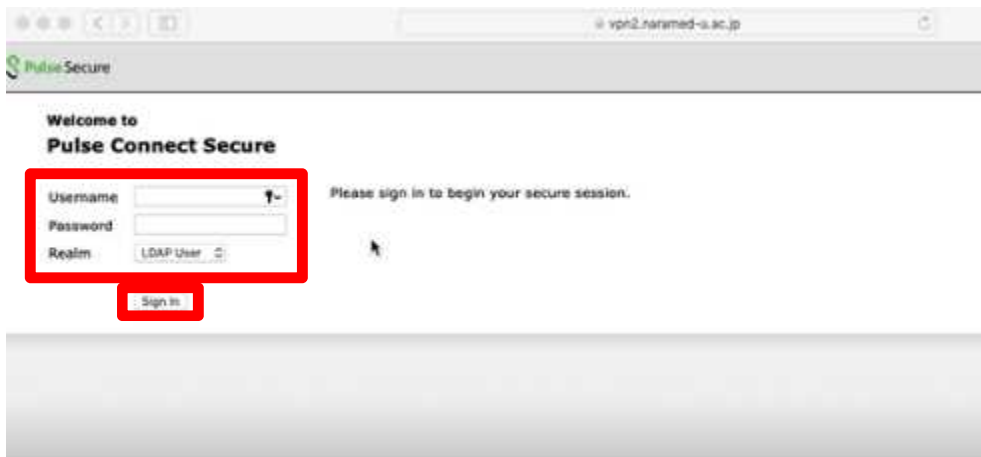
"PulseSetupClient"が"HostChecker"を制御するアクセスを要求しています。制御を許可すると、"HostChecker"の種類やデータにアクセスしたり、そのアプリケーション内で操作を実行したりできるようになります。

許可しない

**OK**

11. 「HostChecker」のチェックが完了したら、ユーザー認証画面が表示されます。  
以下のとおり入力し「Sign In」を実行します。

| 項目       | 入力内容           |
|----------|----------------|
| Username | ※統合 ID を入力します  |
| Password | ※統合パスワードを入力します |
| Realm    | 「LDAP User」を選択 |



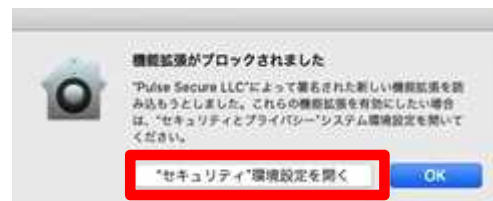
12. 以下のポップアップが表示されたら、「許可」を実行します。



13. 以下の画面が表示されたら、「開始」を実行します。

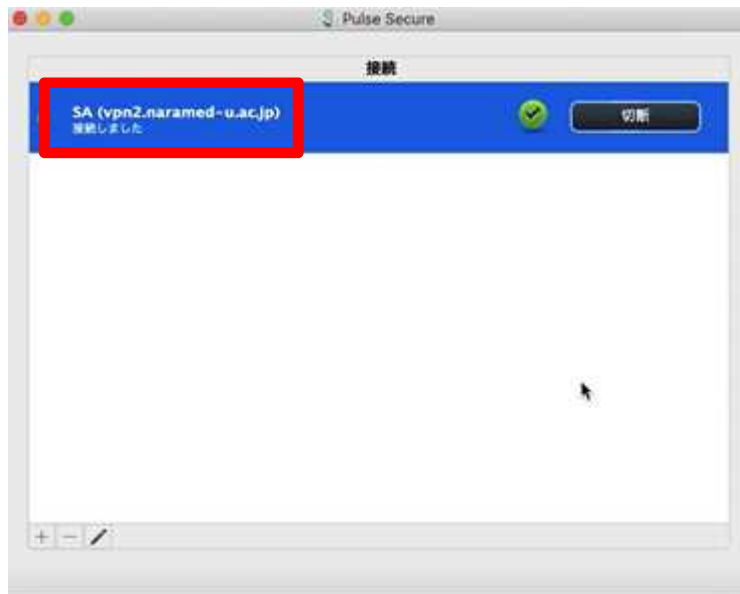


14. VPN 接続のためのツール「Pulse Secure」のインストールが開始されます。  
以下のようなポップアップが表示されたら、それぞれ以下のように選択してすすめます。





15. 以下のような画面が表示され「接続しました」と表示されれば、VPN 接続は完了となります。



以上で接続処理は完了です。

## 1.2 MacOS 端末からの切断

---

1. SSL-VPN 接続を終了する場合は、Web ポータル画面右上の「ログアウト」をクリックします。



2. 以下の画面が表示されれば、ログアウトが完了となります。



以上で切断処理は完了です。



## 2. MacOS 端末での利用（2 回目以降）

---

本項では、MacOS 端末から接続する 2 回目以降の手順を記載します。

### 2.1 方法①：Web ブラウザからの接続と切断

---

前項の「2. MacOS 端末での利用（初回接続）」と同様の手順になります。

「HostChecker」と「Pulse」は既にインストール済みとなりますので、その分接続までの時間は短くなります。

### 2.2 方法②：Pulse ツールからの接続と切断

---

ここでは Web ブラウザは使わずに、インストール済みの「Pulse」ツールからの接続と切断方法を記載します。

1. 画面上部のメニューから、以下のアイコンを右クリックし、  
「SA (vpn2.namamed-u.ac.jp)」→「接続」をクリックします。



2. Web ブラウザからの接続と同様に、以下に従って適宜選択し「接続」を実行します。

| 項目  | 入力内容           |
|-----|----------------|
| レルム | 「LDAP User」を選択 |



3. 次に、「ユーザ名」と「パスワード」の入力画面に映りますので、それぞれ入力し「接続」を実行します。

| 項目       | 入力内容           |
|----------|----------------|
| Username | ※統合 ID を入力します  |
| Password | ※統合パスワードを入力します |



4. 画面上部のステータスバーのアイコンの状態が以下のように変われば、VPN 接続が完了となります。



以上で接続処理は完了です。

5. VPN を切断する場合は、同様にステータスアイコンから以下のアイコンを右クリックし、「SA (vpn2.namamed-u.ac.jp) 」→「切断」を実行してください。ステータスアイコンが以下のような状態になれば切断が完了となります。



以上で切断処理は完了です。